

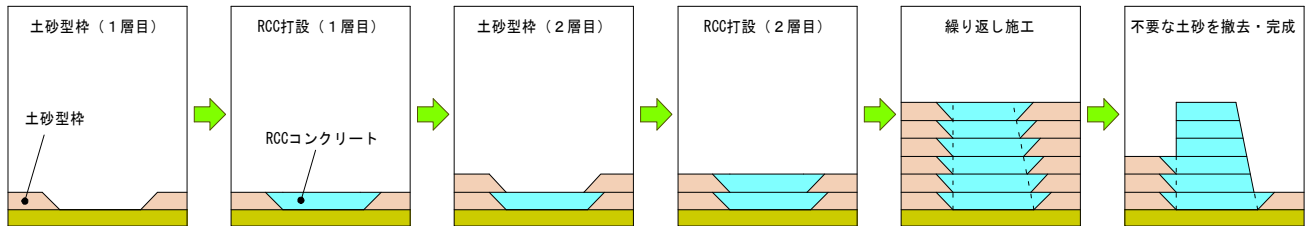
RCC工法（１）

（土砂型枠先行型）

RCC(Roller Compacted Concrete)工法とは、超固練りコンクリートを用いた転圧コンクリートの一種です。ブルドーザで敷均し、振動ローラにて転圧することで、必要な強度を発生します。1層(50cm)ごとに土砂型枠、RCC打設を繰り返し、コンクリートの躯体を構築します。

■土砂を盛り上げて型枠として利用する「土砂型枠工法」により、無人化施工で砂防堰堤等の築造が可能となった！

■RCCコンクリート打設手順（土砂型枠先行）



RCC工法(2)

(コンクリート先行打設型)

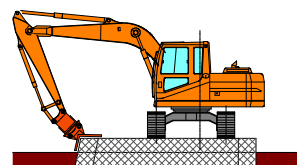
RCC打設では通常、土砂型枠を作製し、コンクリートを打設しますが、近年ではコンクリートを先行して打設を行うRCCコンクリート先行打設工法も採用されています。

■RCCコンクリート先行打設工法

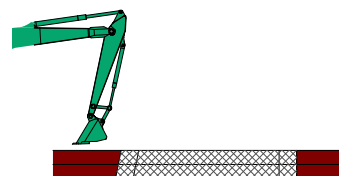
特殊振動締固め機の使用によりRCCコンクリートの先行打設を行います。0.4m³級バックホウをベースとした特殊振動締固め機を使用し、振動部はRCD工法で使用する振動目地切機(起振力125kN)のアタッチメントを使用し、垂直方向に振動させ締固める。



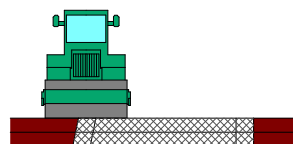
①RCC打設後、法肩を締め固める



②土砂型枠部を整形する



③土砂とRCCを締固める



RCC運搬



RCC敷均し・転圧



法面整形



法面締固め



土砂型枠部の整形



RCC・土砂型枠の締固め